

外来で抗菌薬を処方された患者さんへ

「AST による外来経口抗菌薬適正使用に向けた取り組み」へのご協力をお願い

1. 研究の概要

1) 研究の目的

WHO が提唱した AWaRe 分類は抗菌薬適正使用のための新たな指標です。このうち“Access”に分類される抗菌薬は、一般的な感染症の第一選択薬または第二選択薬として用いられる耐性化の懸念の少ない抗菌薬で、すべての国が、高品質かつ手頃な価格で、広く利用できるようにすべきものと定義されています。“Watch”に分類される抗菌薬は、耐性化が懸念されるため、限られた疾患や適応にのみ使用すべき抗菌薬と定義されています。そして、“Reserve”に分類される抗菌薬は、薬剤耐性のために他の手段が使用できなくなったときにのみ使用される、最後の手段 (last resort) として取り扱うべき抗菌薬と定義されています。WHO は Access 抗菌薬の使用比率を 60%以上と推奨しています。しかしながら、当院の 2023 年 10 月から 6 ヶ月間の使用比率は 32%と低く、気道感染症や皮膚疾患において Watch 抗菌薬が多く使用されており、早急な対策が必要と思われました。

2024 年 4 月以降、抗菌薬適正使用支援チーム(AST) による外来経口抗菌薬の適正使用推進を強化した後の抗菌薬使用状況の調査を行いました。

2) 研究の意義・医学上の貢献

研究成果により今後の薬剤耐性菌対策に寄与できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023 年 1 月～2025 年 12 月に外来で抗菌薬を処方された患者さんを対象とします。

2) 研究期間

実施許可日から 2026 年 7 月 31 日までです。

3) 予定症例数

20000 例程度を予定しています。

4) 研究方法

研究者がレセプトデータから上記期間の抗菌薬使用量を抽出し、これらに関する分析を行います。

5) 使用する情報

当院が保有するレセプトデータを用いますが、研究者が直接個人を特定できる情報（氏名、住所、生年月日、保険者番号など）にはアクセスしません。データは医療機関内で匿名化処理を行い、研究者には匿名化済みデータのみが提供されます。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、適切に保管させていただきます。電子情報の場合は、パスワード等で管理・制御されたコンピューター内に保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。

NTT 東日本札幌病院 薬剤科 檜山 瑠美

8) 研究結果の公表

研究成果を学会や学術論文で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

9) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2026 年 7 月 31 日までの間に下記連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続きをして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療などの病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。ご連絡いただいた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことが出来ないため、その点はご了承ください。

<問い合わせ・連絡先>

NTT 東日本札幌病院 薬剤科：檜山 瑠美

〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 1 5 丁目 TEL 011-623-7000（病院代表番号）

このお知らせは、「令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。